

センターだより



阿南市青少年健全育成センター No.174 (令和5年度 春号)

令和5年4月19日

4 令和4年度いじめ状況調査まとめ

いじめ状況調査

(単位：件)

		いじめ 認知件数	解消して いる	解消に向けて 取組中(支援中)
R3年度	小学校	155	108	47
	中学校	51	42	9
R4年度	小学校	170	117	69
	中学校	51	23	28

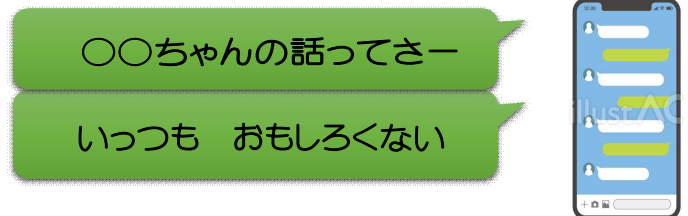
阿南市教育委員会は、市内の小学校及び中学校の全ての児童・生徒を対象に年3回のいじめ状況調査を実施しています。

令和4年度も令和3年度と同様、いじめの認知件数が増加しています。これは、(1)新型コロナウイルス感染症による諸行事や活動の制限が徐々に緩和され、子どもたちの相互接触の機会の増加してきたこと、(2)教職員にいじめの定義やいじめの認知等に関する理解が広がったこと、などがその要因と推測できます。

いじめの認知、当該訴え等に対する各学校の組織的な対応によって、ほとんどの場合が早期に解消できているものと考えられます。また、いじめの態様としては、冷やかしのほか、仲間はずし、叩く、物を隠すなどがデータとして挙げられています。なお、本年度も、SNSに関する諸問題について、「本センターだより」でも考えていきますのでよろしくお願いします。

5 グループトークでの友人トラブル (総務省)

(1) うっかり「？」をつけ忘れたために



Aさんは仲良しグループのトーク画面で、メッセージの最後に「？」をつけ忘れたまま送信してしまったことに気づかず、すぐにお風呂に入ってしまった。

(2) 一方的にグループから外されてしまった

お風呂上がりにはスマホを見ると、「ひどい！」などのメッセージが。誤解を解こうとしても、反応なし。Aさん以外のメンバーは別のグループを作り、A3を外したのです。

(3) 考えてみよう

会話の流れが速く、ささいなことでも誤解や感情の行き違いが生じやすいグループトーク。トラブルに発展することなく、仲良く使い続けるために気をつけたいことは？

① 誤解を与えないために

「?」「!」では意味が真逆になることもある文字の会話。記号やスタンプ、(^o^)のような顔文字を活用して、気持ちが正しく伝わるよう工夫しながらやりとりすることが大切です。

② 速くて複雑な会話だから

グループトークはテンポが速く、複数の会話が行って飛び交います。話の途中で参加すると流れをつかむのが大変ですが、曖昧なままやりとりせず送る前に「見直す」ことを習慣に!

③ ムカッ!イラッ!としたら

どんな相手でも、嫌な気持ちになることはあります。そんなときは感情をすぐにぶつけず、一呼吸して考えて。文字だとケンカになりそうなら、電話で話してみるのも良い方法です。

(4) グループトークによる「いじめ」も様々に

グループトークに起因する「いじめ」も、パターンはさまざま SNSいじめ

- 一人の子を多数で追い詰める
- 発言を無視する
- いじめ・嫌がらせのネタとなる写真や動画を共有する
- グループから外す (または新たなグループを作り会話を移動)
- 「ステメ」を悪用した嫌がらせ

メンバー以外は読むことができないグループトーク、誰宛かを一切書かない悪口ステメ (ステータスメッセージの略で、メッセージアプリのプロフィール欄に書ける一言メッセージのこと。ステメを使いたいじめやトラブルが増えている。)、いずれも人目につきにくく、身近な大人が日々の様子や会話から変化・違和感を察することが早期発見・解決の鍵だと思われま。そして、みなさん自身も画面をスクリーンショット等に残しておくことも解決の糸口になると思われま。

(5) ワンポイントアドバイス

自分の意見を押しつけない、本心ではない意見に同調しない、周囲に流されない等を心がけ、お互いに相手を思いやる気持ちを大切にしてください。

1 ごあいさつ 所長 富永 悟

新緑の好季節となりました。また、新型コロナウイルスの感染対策も緩和されたことにより生活環境も徐々に変化しているように見うけられます。

さて、当センターでは新しい職員を迎え新体制のもと学校・地域・関係諸機関と連携を図り青少年の健全育成と非行防止に向けた活動を行ってまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 センター新メンバー紹介

新年度になり、当センターも新メンバーを迎えました。本年度もよろしくお願いたします。

(転出) お世話になりました 生徒指導主事 土井正史(4年) 〈県男女参画・人権課へ〉	(転入) よろしくお願いたします 生徒指導主事 湯浅和夫
(継続) 所長 富永 悟 いじめ対策チーム班長 湯浅 和彦 学校教育課課長補佐 成松 美紀	副所長 近藤 幸博 指導員 藤内 直道

3 令和4年度の不審者情報まとめ

令和4年度 不審者情報まとめ

令和5年 4月 3日

I 件数と行為別状況

行為別	対象者					合計
	小学生	中学生	高校生	その他		
声かけ	4(5/8)	1(2/2)				5(7/10)
盗撮	3(8/8)	1(3/3)	2(4/4)			6(15/15)
尾行・つきまとい	2(5/6)	1(1/1)				3(6/7)
暴行・連れ去り未遂						
露出						
痴漢・接触						
おどし						
その他	1(0/1)					1(0/1)
合計	10(18/23)	3(6/6)	2(4/4)			15件(28/33)
校種割合(女子率)	6.7%(78%)	2.0%(100%)	1.3%(100%)			(女子内数/被害者総数)

II 月別件数

月	月別件数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	2	4	2	0	0	0	1	1	2	0	0	3	15件 (28/33)
発生率	13%	29%	13%	0%	0%	0%	6%	6%	13%	0%	0%	20%	

1 総数 15件。令和3年度よりも4件少ない。

2 内訳 最も多かったのが「盗撮」6件、次に「声かけ」5件、「尾行・つきまとい」が3件、「その他(傷害)」1件となっています。

「盗撮」「声かけ」の全てが女子に対するものでした。また、全体の85%が女子を対象とするもので、特に令和3年度、「接触2件」「つきまとい6件」と重篤傾向が強いものがありましたが、令和4年度は「つきまとい3件」となったものの、「盗撮」が6件と悪質な事案も含まれています。

3 令和4年度も年間を通して不審者情報はもたらされました。しかも、毎年の傾向として4月から6月に全体の60%が集中しており、本年度も同じ時期を要注意時期と考えております。

4 不審者情報の時間帯は、「午前」2件(15%)「午後」13件(85%)、「下校時」が8件(53%)、「登校時」が2件(13%)となりました。

15:00~17:00の時間帯の発生率 67% でした。

5 校種別は、「小学校」10件(67%)、「中学校」3件(20%)、「高校」2件(13%)でした。

6 男女比は、全体的には「女子」28人(85%)、「男子」5人(15%)が遭遇しています。例年、女子の割合は80%程度ですが、令和4年度は女子の不審者との遭遇が増えています。

7 校種別男女比は、「高校生」「中学生」の遭遇者は女子が100%でした。なお、「小学生」の男児5名(15%)が遭遇者のなかに含まれています。

8 「小学生」の児童の事案の全てが「1人」でいるときに発生したものであるため、本センターでも「青パト」によるパトロールを強化するなどその対応に努めていきたいと考えています。

9 (まとめ) 不審者情報は、年間を通してほぼ毎月寄せられており、なかでも約60%が4~6月に集中し、また下校中の15:00~17:00の時間帯が高くなっております。この時期の「下校時」は注意を要する時間帯であると考えられます。

